

【平安:peace】

平安を英語で言うと、PEACE ですが、PEACE を日本語で言うと、平和と言う人が大半ではないでしょうか。他に 和平、安らぎ、無事等とも訳されます。ヘブル語ではシャロームです。挨拶の時に使われる言葉です。

多くの人は平和を求めていると思います。しかし、歴史を見てみると争いごとが多く発生しています。国内での発生を内乱や反乱と呼ばれるし、外国に攻め入ることを侵略戦争等と言い、様々な争いごとが発生しています。なぜ戦争が起こるのか、聖書から見てみます。

ヤコブ 4 章 1～2 節「1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るではありませんか。2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」【1 Where do wars and fights come from among you? Do they not come from your desires for pleasure that war in your members? 2 You lust and do not have. You murder and covet and cannot obtain. You fight and war. Yet you do not have because you do not ask.】人の心には欲望があります。その欲望を正しく用いるならば発展があるでしょう。しかし、人は利己的な思いから、自分さえ良ければ他人はどうでもいいという考えを持ちます。その欲望を満足させるために、争いや戦争という手段を用いることは正しくありません。

平和について、聖書にはどう書かれているのでしょうか。「平和の契約」という言葉が旧約聖書に4か所あります。民数記 25 章 12 節「それゆえ、言え。『見よ、わたしは彼にわたしの平和の契約を与える。』」【Therefore say, 'Behold, I give to him My covenant of peace;】イザヤ 54 章 10 節「たとえ山が移り、丘が動いても、わたしの真実の愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない。——あなたをあわれむ方、主は言われる。」【For the mountains shall depart And the hills be removed, But My kindness shall not depart from you, Nor shall My covenant of peace be removed,】 Says the Lord, who has mercy on you.】エゼキエル 34 章 25 節「わたしは彼らと平和の契約を結び、悪い獣をその地から取り除く。彼らは安らかに荒野に住み、森の中で眠る。」【“I will make a covenant of peace with them, and cause wild beasts to cease from the land; and they will dwell safely in the wilderness and sleep in the woods.】エゼキエル 37 章 26 節「わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。これは彼らとの永遠の契約となる。わたしはそれを彼らに与え、彼らを増やし、わたしの聖所を彼らのうちに永遠に置く。」【Moreover I will make a covenant of peace with them, and it shall be an everlasting covenant with them; I will establish them and multiply them, and I will set My sanctuary in their midst forevermore.】契約は解約することができます。しかし、永遠の契約ならば、解約はできません。神は、この平和の契約を永遠だと言われます。

新約聖書には「平和の神」として7か所ありますが、4か所を引用します。ローマ 16 章 20 節「平和の神は、速やかに、あなたがたの足の下でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。」【And the God of peace will crush Satan under your feet shortly. The grace of our Lord Jesus Christ be with you. Amen.】Ⅰコリント 14 章 33 節「神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。」【For God is not the author of confusion but of peace,】Ⅱコリント 13 章 11 節「最後に兄弟たち、喜びなさい。完全になりなさい。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。」【Finally, brethren, farewell. Become complete. Be of good comfort, be of one mind, live in peace; and the God of love and peace will be with you.】Ⅰテサロニケ 5 章 23 節「平和の神ご自身が、あなたがたを完全に聖なるものとしてくださいますように。あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのないものとして保たれていますように。」【Now may the God of peace Himself sanctify you completely; and may your whole spirit, soul, and body be preserved blameless at the coming of our Lord Jesus Christ.】人の体は死によって朽ち果てますが、たましい、霊は永遠に存在します。なぜなら、神はそうように創造され、人は死んだ後に、肉体は朽ち果て、霊は神の元に行くと聖書に書かれています。伝道者の 12 書 7 節「霊はこれを与えた神に帰る。」【And the spirit will return to God who gave it.】神は人との間に、平和を保ちます。しかし、人の側に、主イエス・キリストの来臨の時、責められることがないことが条件です。完全に聖なるものとなっていなければなりません。霊は神の元に帰ります。帰るとは、元居た場所に戻ることを意味します。その時、聖なるものになっている必要があります。イエス・キリストを知らなければ、聖なるものになりません。英語でも、「リターン」で戻るになっています。